

青森市匠の職人（平成24年度受賞）

相馬 そつま 奈生子 なおこ（美容師・衣装着付師）

伝統を守りつつ、新しさも取り入れながら



主な受賞歴

'88年 第10回紅の花賞花嫁化粧コンクール 臙脂賞第四席

'95年 第15回花嫁着付コンクール（百日草）第一席

問い合わせ先

（有）美容室こなか

〒030-0803 青森市安方1丁目3-9

TEL 017-776-7211

【取材レポート】

祖母の代から続く美容室で、小さいときから花嫁さんが周りにいる環境で育った相馬さん。

短大の芸術学部を卒業後、東京の美容室で2年間の修業を積み、母の婚礼美容を手伝うため帰青。花嫁一人ひとりに合った婚礼衣装の着付の奥深い技術に日々悩み、試行錯誤を繰り返しました。

自分の技量を確かめるため『紅の花賞花嫁化粧コンクール』など、様々な大会に挑戦し続け、平成7年には、美容界で最高の権威を誇り、千変万化する華やかなステージが見る者を魅了する『千葉益子賞花嫁着付コンクール』で第一席を受賞。

また、『コンクールの高位入賞者のみが入会できる『百日草花粧会』の新趣帯結び創定委員に選ばれるなど、日本を代表する着付師の一人となりました。

新鮮で大胆な帯結びを得意とする相馬さんの作品が注目され、平成21年、23年には思いがけない大役として、ミス・ユニバース日本代表が世界大会で着用するコスチュームの帯制作を担当。「感動的な現場を体験でき、これからの創作に大変刺激を受けました」と笑顔を見せます。

「これからも、もっともとの精神で、伝統の花嫁姿を守りつつ、常に新しいものを発信していきたい」と語ってくれた相馬さん。

花嫁の幸せな笑顔を思い浮かべながら、新趣帯結びの考案や後輩美容師たちの指導に精力的な活動を続けています。



伝統の花嫁姿を守りつつ、新しいデザインも提案